

# かみそNOW

上祖師谷自治会総務部広報委員会 TEL/FAX 03-5315-3646

住んで楽しい、災害に強い、安心安全のまちをめざして、役立つ情報やできごと、お知らせなど、上祖師谷の「いま」をお伝えする地域のしんぶんです。

## 花はなくても、笑顔は満開だった

祖師谷公園さくらフェス 4月8日(日)

今年の桜は異常に早かった。葉桜の下でのさくらフェスとなった。人出は大丈夫か?そんな不安を打ち消すように祖師谷公園さくらフェスは始まった。11時には焼き鳥や焼きそばのいい匂いにお客様も集まり始めた。地元農家の取れた野菜も人気だ。バルーンアートにも行列が出来ている。午後12時30分、親水テラスステージではコンサートも始まった。出演は地元の音楽愛好家やプロの皆さん。和あり、洋あり今年も多彩なステージとなった。音楽のまちを目指す上祖師谷の面目躍如というところか。春の日差しの中で食べながら飲みながら、家族同士で楽しむ保育園のママ友グループがいた。

そもそも祖師谷公園の桜は、ワシントンから里帰りした友好の桜だと言う。そんな桜の下で、地域の人だけでなく遠くからの人も一緒にあって友好を結ぶ。こんな一日をもっと地域に増やしたい。来年こそは満開の桜の下で会いましょう。



## 第10回夕涼み会

7月28日(土)

### 素人のど自慢大会

出場者募集

6月24日締め切り

応募者多数の場合は予選会あり  
優勝★伊香保温泉ペアで招待

詳しくは、上祖師谷自治会事務所へ(火・木)

TEL/FAX 5315-3646

上祖師谷自治会総会が開催されました。5月12日(土)

## 青空に届け!親子の絆

家族で遊ぼう!N祖師谷公園 5月5日(祝)

子どもたちの元気な声が祖師谷公園に響いている。「親子で遊ぼうN祖師谷公園」だ。毎年この日、ばる児童館を中心にPTA、千歳小、塚戸小のおやじの会、地域の団体、都立祖師谷公園などの協力で開催される。今年で27回目を迎えた。

11時開始。食べ物のお店やゲームコーナーには親子の列が。工作の下で子どもたちの相手だ。ばる児童館で育った中高生ボランティアも各コーナーで手伝っている。

ちなみに食べ物のお店は収益金は、「ばるこども育成基金」に寄付され今後の活動に使われるそうだ。



ばる児童館の新任木村館長も地域デビュー。もつとも、5年前には粕谷児童館に勤務していた地域にはなじみが深い。



## 祖師谷公園にこいのぼり!

新緑に染まった4月末。都立祖師谷公園工場のトランス広場で鯉のぼりを掲揚中の公園職員の方たちがあった。近くの保育園児の作だそう。一部は園児に混じって大人たちも参加したようで小さな園児と若いお兄さんとの触れ合いが微笑ましかったと話してくれた。自分たちで頑張った作った鯉のぼりが元気に泳ぐ姿を、子どもたちはどんな思いで見つめたろうか。



## 千歳小吹奏楽団

スプリングコンサート 3月17日(土)

千歳小吹奏楽団と言えば東日本吹奏楽大会で多くの金賞を獲得している名門校だ。演奏への期待も大きい。6年生には千歳小最後のコンサートになる。今回は先輩の中学生との演奏もあり期待を越えたコンサートとなった。



団長の長谷川さんは「たくさん怒られることもあったけど、みんながいたから頑張れた」と涙で感謝を口にした。素敵な演奏をありがとう。

## 交通事故0のまちへ 春の全国交通安全運動に協力 自治会交通部



今年も春の全国交通安全運動が4月6日(金)~14日(土)の9日間行われた。本来なら15日(日)までの予定だったが強風が想定され1日短縮された。その間自治会交通部ならびに自治会有志延べ50名ほどが参加、成城警察、交通安全協会との協力のもと無事に終えることが出来た。期間中は自治会事務所に5~6名が交代で常駐。道行く車に交通安全の啓蒙を行った。車による町内の巡回なども行い安全運転の大切さを地域に呼びかけた。

交通安全は運動期間中だけのものではない。日頃からルール、マナーを守り、交通事故ゼロの上祖師谷にしたい。



元気はつらつ

【主催】上祖師谷自治会  
福利厚生部

自治会が主催する年間を通じたイベント。どなたでも参加できます。お気軽にどうぞ。回覧版、自治会掲示板でお知らせします。\*毎月第2金曜日開催

特別編 「駒沢大学落語くらぶ参上」

3月9日(金) 神明社社務所

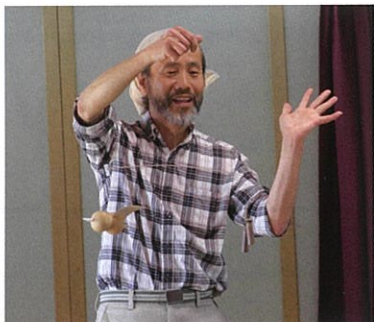
駒沢大と言えば神明社下の野球部がお馴染みだが、今日は特別に落語くらぶ若手4名が元気はつらつに出演してくれた。各大学の落研はなかなかの人気だが、駒大も負けてはいない。これからは経験を重ね、多くの人を元気にしてほしい。



第1回「ひょうたん鳥のモビール」

4月13日(金) 神明社社務所

第1回元気はつらつは、恒例によりひょうたん工房「六瓢」こと吉岡清美先生の登場だ。今回は「瓢箪鳥で作ったモビールの制作」。ミニ瓢箪を鳥に見立てて羽や尻尾を付けひょうたん鳥を作る。後は竹ひごを使ってモビールの出来上がり。羽や尾、くちばしなど六瓢先生が事前にこまかく準備。おかげで全員完成度の高い仕上がりとなった。



かくして今年の元気はつらつもスタートした。地域の人と触れ合いながら楽しいひと時を過ごす。皆さんの参加が待たれる。



農業体験

地域の親子が対象

「じゃがいもクラブ」「だいこんクラブ」が、種の植付けから収穫まで、年3〜4回土曜日に行っています。\*事前申込み制●世田谷区報・募集要項でお知らせします。

期待いっぱい じゃがいもクラブ植え付け

2月17日(土)

今年の農業体験はじゃがいもクラブからだ。午前10時、榎交差点近くの吉岡農園には24組70名ほどの親子が集まった。じゃがいもの植え付けだ。今年は、メークイン、紅アカリ、男爵の3種類。これから5月の草取り、6月の収穫と楽しみは続く。

上祖師谷の農業体験の特徴は自分で植え、収穫すること。この後も7月に「かぶクラブ」8月に「だいこんクラブ」の募集が始まる。ぜひ参加して欲しい。



生演奏で歌う、とびっきりの時間

2月24日(土)

上祖師谷あんしんすこやかセンター主催で、65歳以上を対象とした歌う会が開催された。場所は上祖師谷4丁目の音楽スタジオ、M's Base。生演奏で歌えるとおつてスタジオはいつぱいに。皆んな歌うことが大好きだ。まずは、仙川を中心に活動中のユンさんの指導でボイスストレッチから。お腹の底から大きな声が出始めたところではいよいよ歌の開始。「テネシーワルツ」や「瀬戸の花嫁」、「星影のワルツ」などおつという間の1時間30分だった。



烏山小で避難所運営訓練

5月13日(日)

災害時、避難してくる人たちがいかにスムーズに受け入れられるか。烏山小で地域住民や烏山小の先生方も参加して避難所運営訓練が行われた。実際に大震災が発生したとき行政が動けるのは最速でも3日後だと言う。その間、避難所の開設・運営についても地域で対応しなければならぬ。高橋光正実行委員長は「生き延びるための訓練」と位置づけ運営にあたりと言った。平時の真剣な訓練の積み重ねがまさに「生きる」につながるのだと思う。マニュアルを前に不備なところはなにか、さらにチェックを重ねていた。この訓練は、9月8日(土)、上祖師谷中でも行われる。



防災ベンチやきいも体験

3月4日(日)

都立祖師谷公園

普段のベンチがいざという時、かまどになる。すっかりお馴染みになった都立祖師谷公園の防災ベンチやきいも体験。JA支部や消防団も参加。東日本大震災から7年目を迎えるこの時期に防災への関心も高く大勢の人が集まった。

昨年好評だった時計塔の下の水がめも行政の担当者が案内、説明を受けた。貯水量は1500立方メートル。一人3ℓとして50万人分に当たると言う。かまどベンチで焼いた芋を食べながら、あらためて防災について考えた一日だった。



上祖師谷を歩こう！

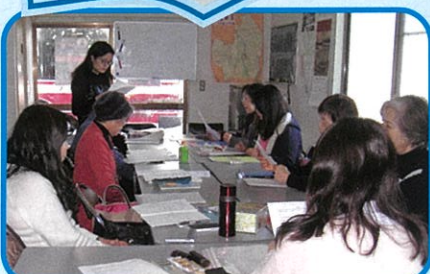
3月25日(日)・31日(土)

上祖師谷に住みながら意外と知らない地域のことを案内してくれる「上祖師谷郷土研究会」の古地名ツアー。25日の案内人は佐藤治雄さん。上祖師谷のハチミツ園や春先の農家の収入源だった筍のこと、農業体験でお馴染みの吉岡農園など、今回は上祖師谷の原点ともいえる農家を中心に途中、神明社やこの地にゆかりのある人物等の話を交えながら2時間ほどで回った。佐藤さんもこの地に生まれ育った方で、変わりゆく上祖師谷を自ら体験している。その変化を古い写真で示しながら楽しく紹介していただいた。



すぐに役立つ

自治会「英会話教室」毎土曜開催



自治会が主催する英会話教室が毎土曜日(9月から2回)自治会事務所で行われている。先生は上智大国際交流会館の留学生だ。教材はすぐに役立つごく身近な日常会話を中心に準備する。生徒たちは、学校卒業以来、何十年と英語から遠ざかっていた人ばかりだが、和気あいあいと楽しんでいる。これならオリンピックで多くの外国人が訪れても簡単な会話だったら受け答え出来る。小学6年生ぐらいなら親子で参加というのもありかも知れない。

◆ 編集後記 ◆

季節は駆け足で過ぎてゆく。梅雨が終わると上祖師谷のイベントも目白押し。みんなで地域を盛り上げたい。(O.Y.)  
4月から新年度がスタート。年々豊かになる自治会のイベントや防災活動。参加する方が広がっているように思える。(M)